

# 全般季節予報支援資料

## 1か月予報

2025年5月1日

予報期間：5月3日～6月2日

この資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## 特に注意を要する事項

### 出現の可能性が最も大きい天候

北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

東・西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

# 全般1か月予報

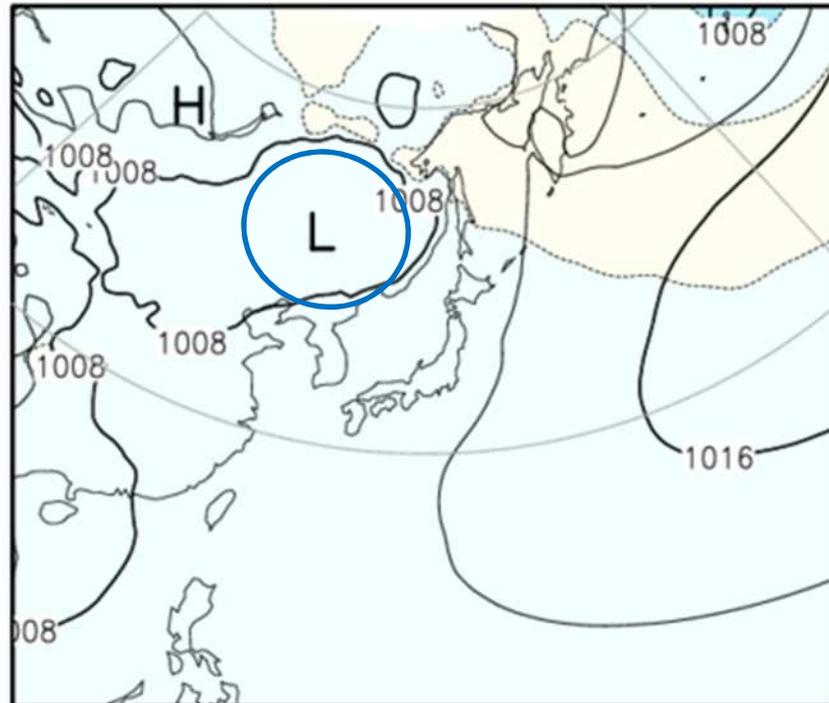
1か月		気温(%)	降水量(%)	日照時間(%)	降雪量(%)
		低並高	少並多	少並多	少並多
北日本	日本海側	20:40:40	20:40:40	40:40:20	
	太平洋側		20:40:40	40:40:20	
東日本	日本海側	20:40:40	30:30:40	40:30:30	
	太平洋側		30:30:40	40:30:30	
西日本	日本海側	20:40:40	30:40:30	40:30:30	
	太平洋側		30:30:40	40:30:30	
沖縄・奄美		20:40:40	20:40:40	40:30:30	

気温	1週目(%)	2週目(%)	3~4週目(%)
	低並高	低並高	低並高
北日本	20:50:30	20:40:40	20:40:40
東日本	30:50:20	20:40:40	20:40:40
西日本	30:50:20	20:40:40	20:40:40
沖縄・奄美	20:50:30	20:40:40	20:40:40

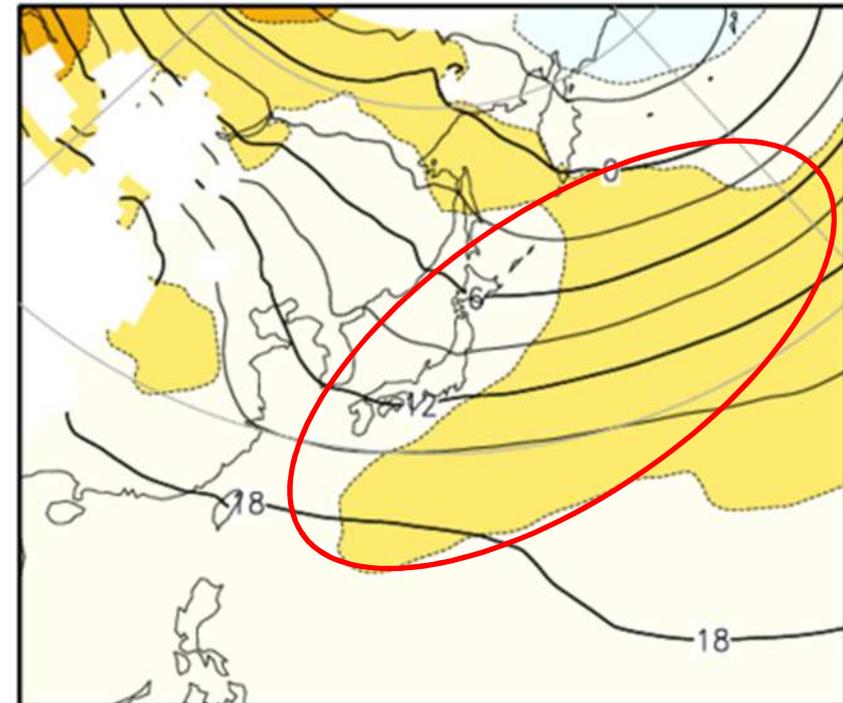
## 全般予報のポイント

- ・向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、全国的に平年並か高いでしょう。
- ・2週目を中心に、全国的に低気圧や前線の影響を受けやすいでしょう。
- ・北日本では、低気圧や湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。
- ・沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は平年並か多い見込みです。

## 海面気圧(1か月)

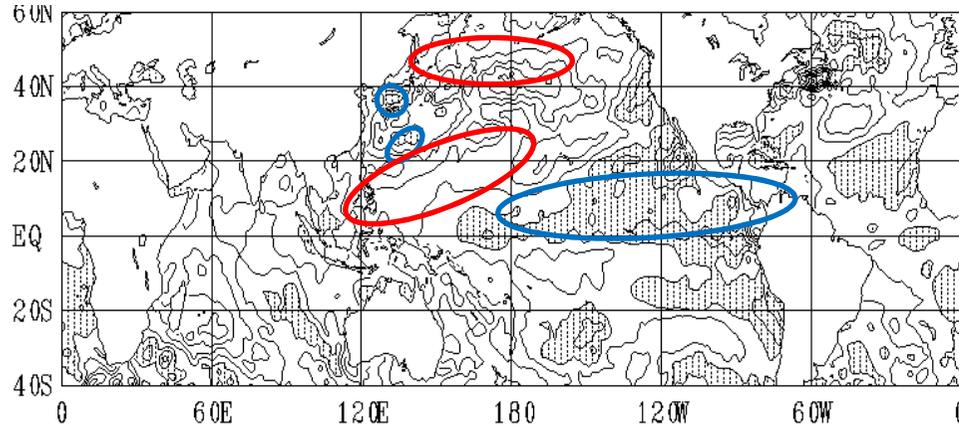


## 上空約1500mの気温(1か月)



1か月平均の海面気圧(左図)は、中国東北区付近に低気圧が予測され、北日本では低気圧や湿った空気の影響を受けやすい時期があるでしょう。また、沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響を受けやすい時期がある見込みです。上空約1500mの気温(右図)は、日本の南では平年より高いと予測され、日本付近では、暖かい空気に覆われやすい見込みです。

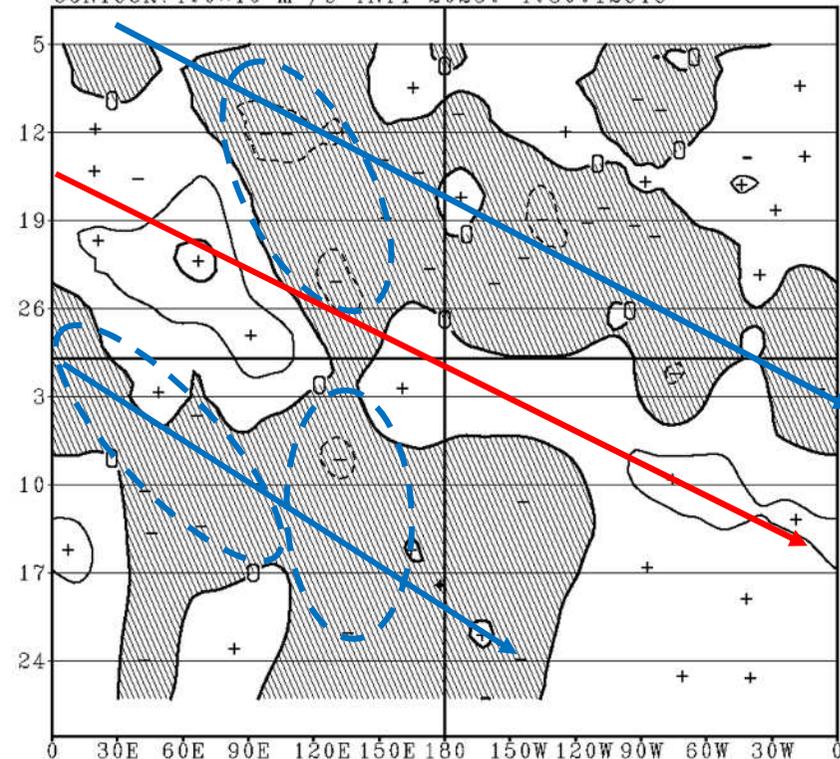
## SST偏差



熱帯域では、南シナ海からニューギニア島周辺にかけて正偏差、フィリピンの東で負偏差。  
日本付近では、日本海西部と日本の南で負偏差、日本海北部から日本の東にかけて正偏差。

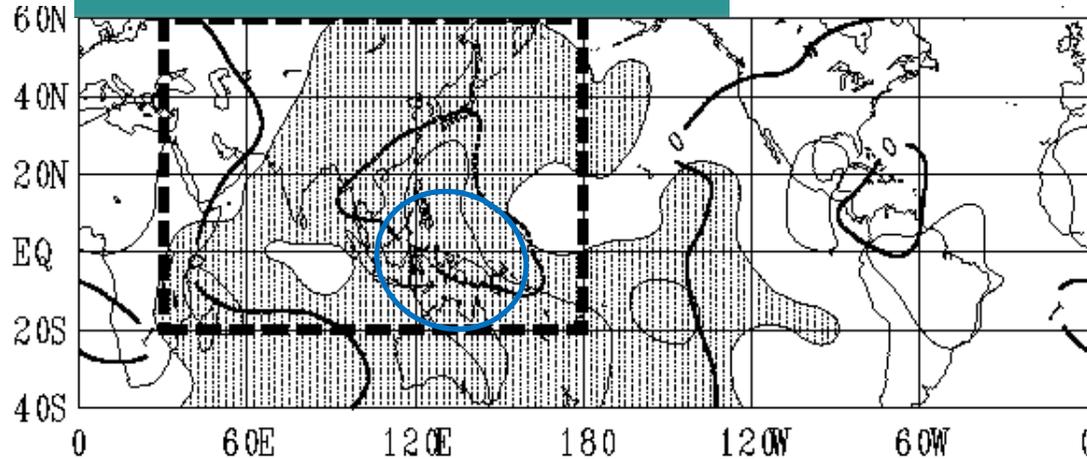
## 200hPa速度ポテンシャル偏差

200 hPa速度ポテンシャル偏差 (5 N-5 S) アンサンブル平均  
CONTOUR:  $4.0 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$  INIT=2025. 4.30.12UTC



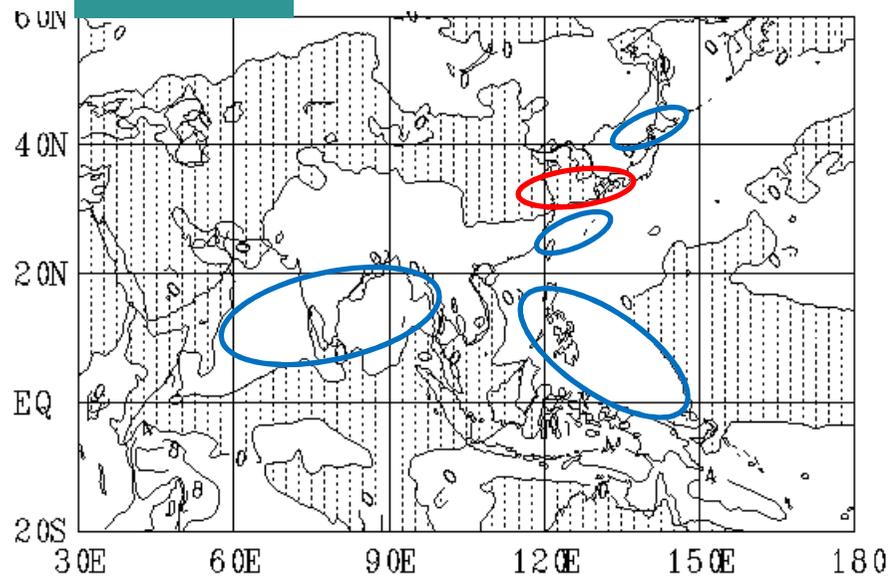
2週目を中心に、熱帯季節内変動に伴い、インドから東南アジアにかけて対流活動が活発

## 200hPa速度ポテンシャル



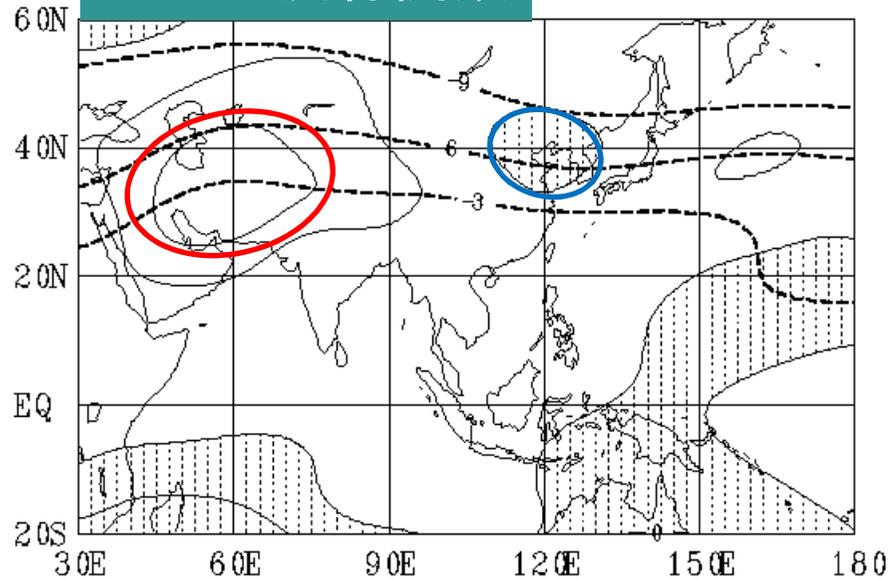
インドネシア付近で上層発散偏差だが、全体的に偏差は小さい。

## 降水量



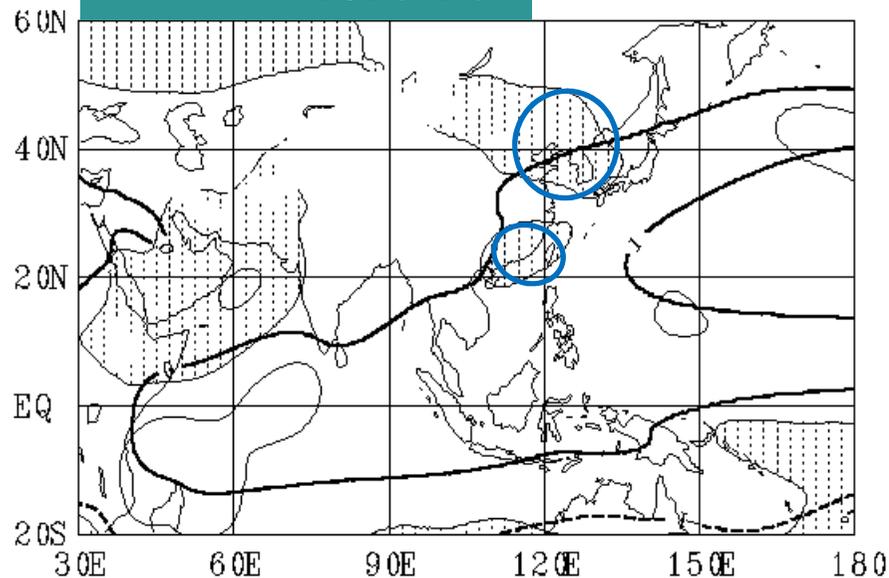
フィリピン付近からニューギニア島付近と、インド付近からインドシナ半島付近にかけて多雨偏差。  
日本付近では、北日本と沖縄・奄美に多雨偏差。

## 200hPa流線関数



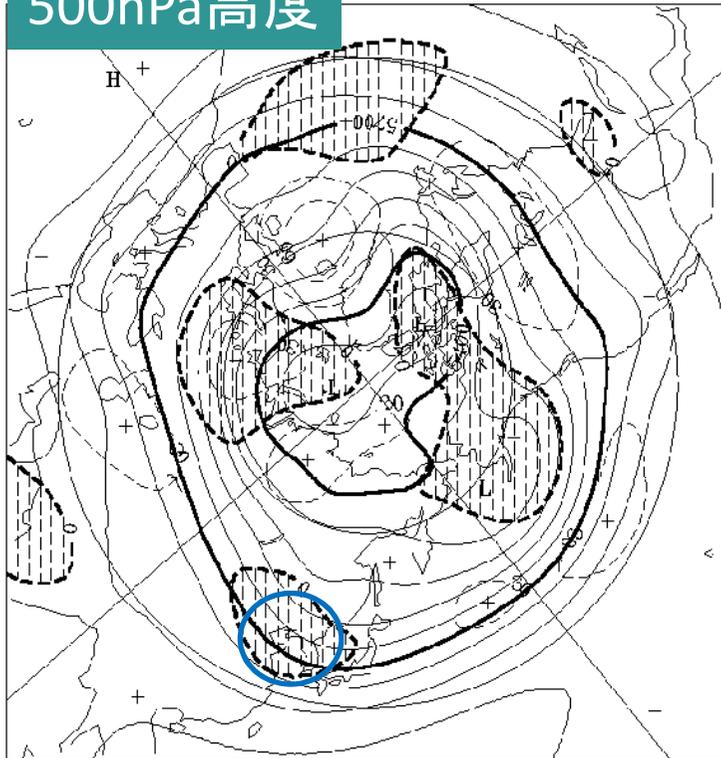
中央アジア付近で高気圧性循環偏差、中国東北区から朝鮮半島付近で低気圧性循環偏差。

## 850hPa流線関数



中国東北区と南シナ海付近で低気圧性循環偏差。

## 500hPa高度



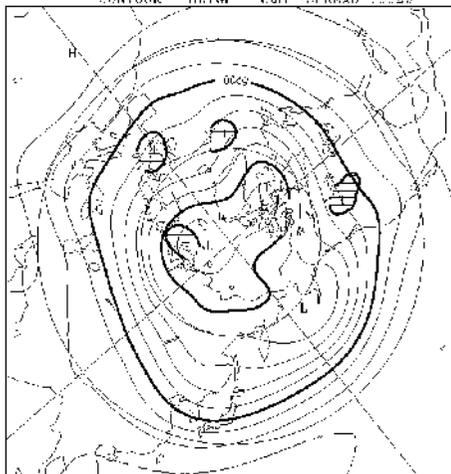
中国東北区から朝鮮半島付近を中心に負偏差。日本付近は正偏差だが、平年からの隔たりは小さい。

500hPa SPREAD AND HEIGHT

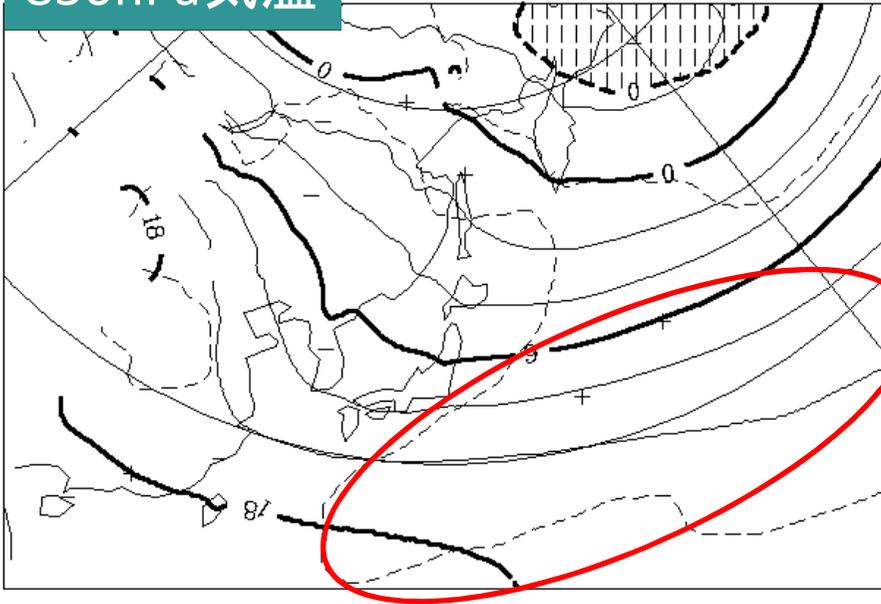
PROJ. OF H. ANOMALY AND S.D.

CONTOUR HEIGHT: 60m SPREAD: 0.25

CONTOUR S.D.: 20m PROB: 0.25

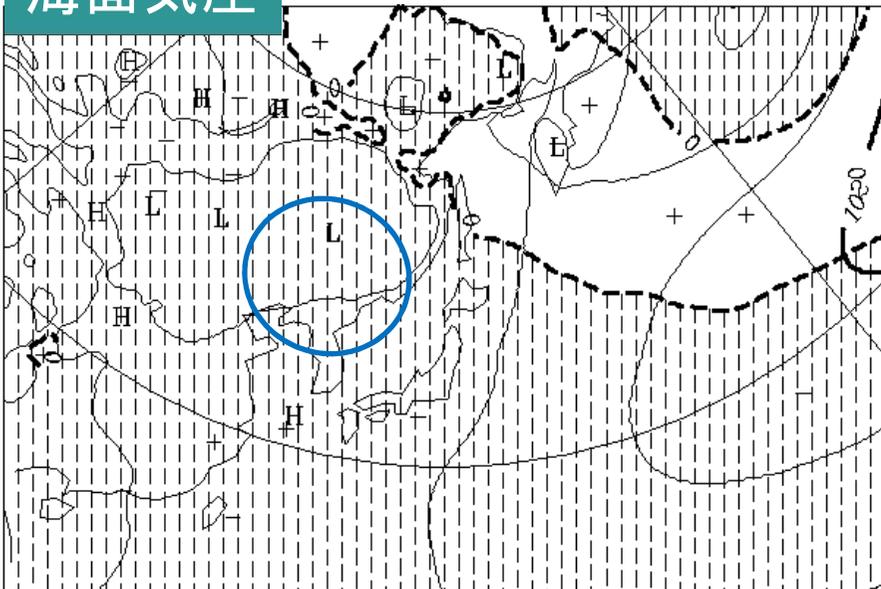


## 850hPa気温



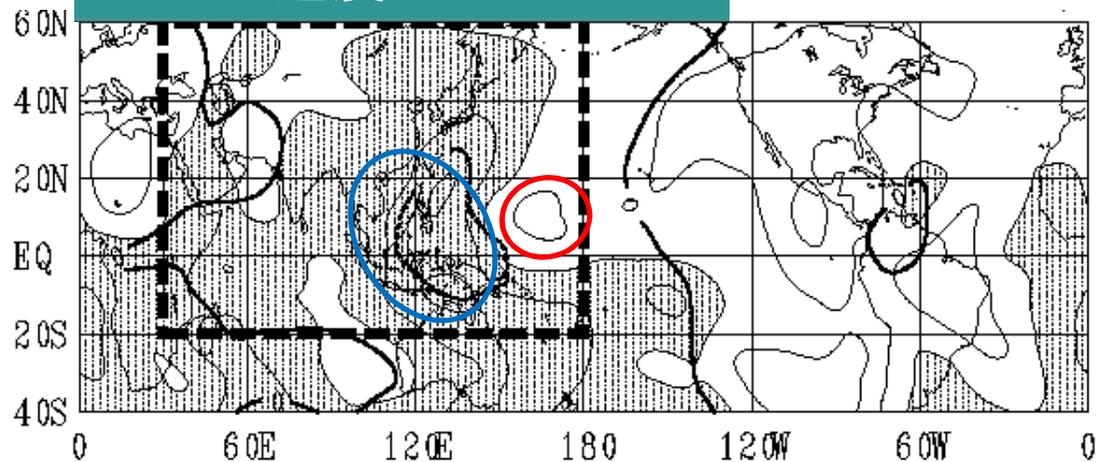
日本の南海上を中心に正偏差。

## 海面気圧



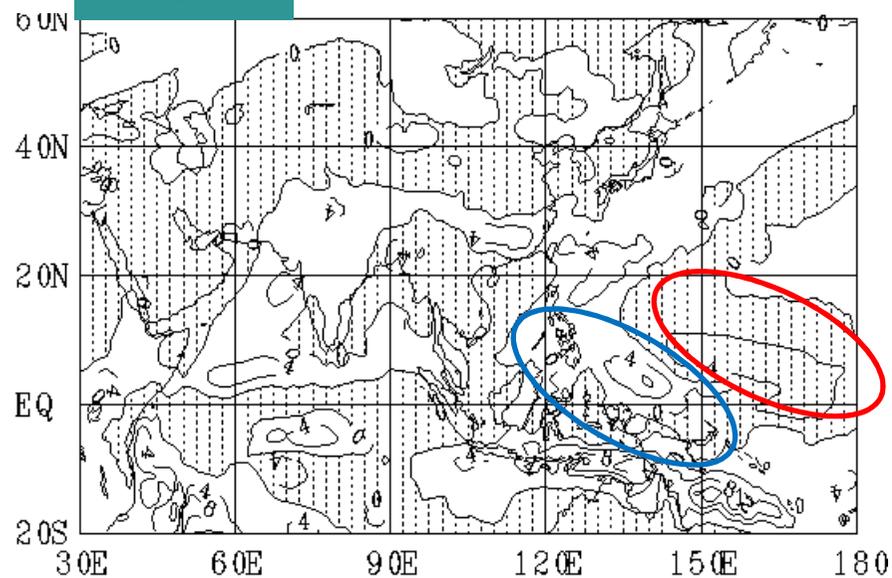
日本を含む広い範囲で負偏差となっており、中国東北区付近では、低気圧を予測。北日本を中心に、低気圧や湿った空気の影響を受けやすい時期がある。また、本州付近を中心に等圧線の間隔が広く、天気は周期変化。

## 200hPa速度ポテンシャル



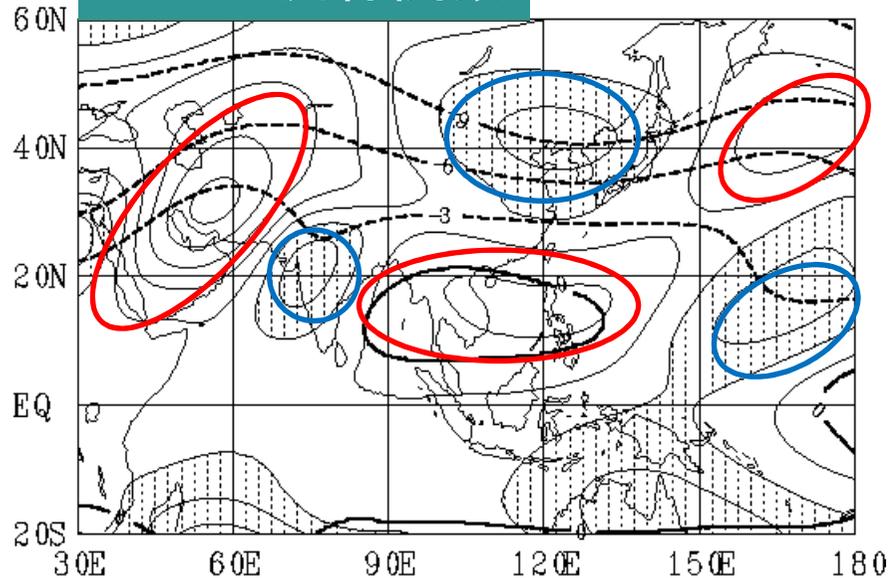
インドネシア付近で上層発散偏差。フィリピンの東で上層収束偏差。

## 降水量



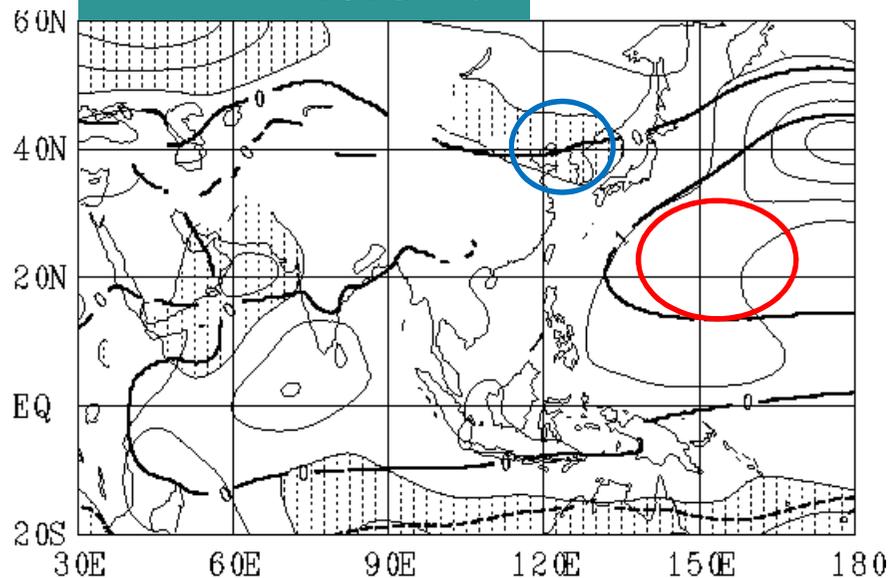
インドネシア付近で多雨偏差。日付変更線付近の西側で少雨偏差。  
日本付近は西日本を中心に少雨偏差だが、偏差は小さい。

## 200hPa流線関数



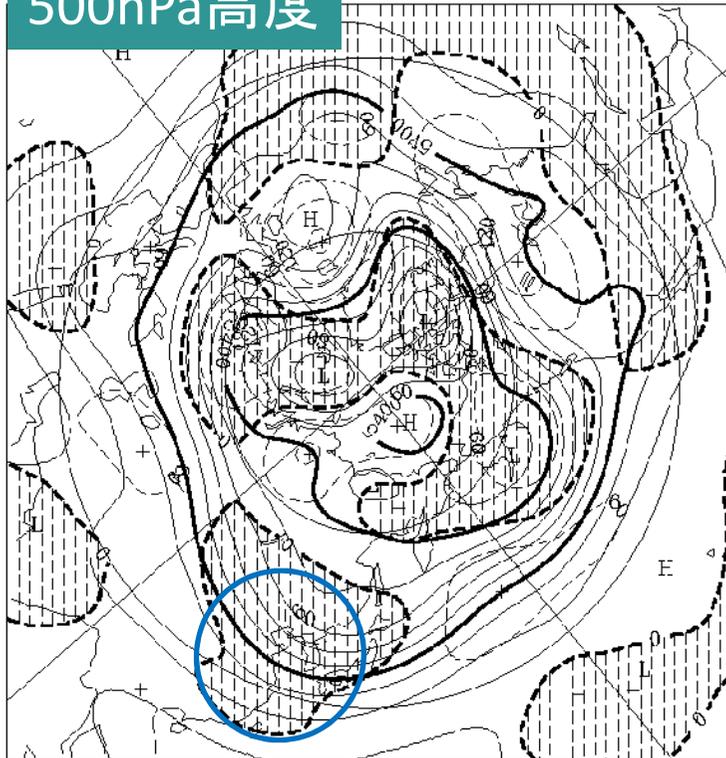
中東付近で高気圧性循環偏差、朝鮮半島付近を中心に低気圧性循環偏差、日本の東で高気圧性循環偏差。また、インド付近に低気圧性循環偏差、フィリピン付近に高気圧性循環偏差、日本の南東で低気圧性循環偏差。

## 850hPa流線関数



中国東北区付近で低気圧性循環偏差で順圧的な鉛直構造。一方、日本の南東では高気圧性循環偏差で、傾圧的な鉛直構造。

## 500hPa高度

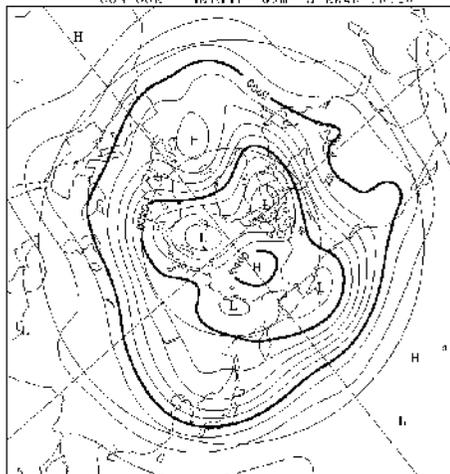


500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF H. ANOMALY AND S.D.

CONTOUR HEIGHT: 63m SPREAD: 0.20

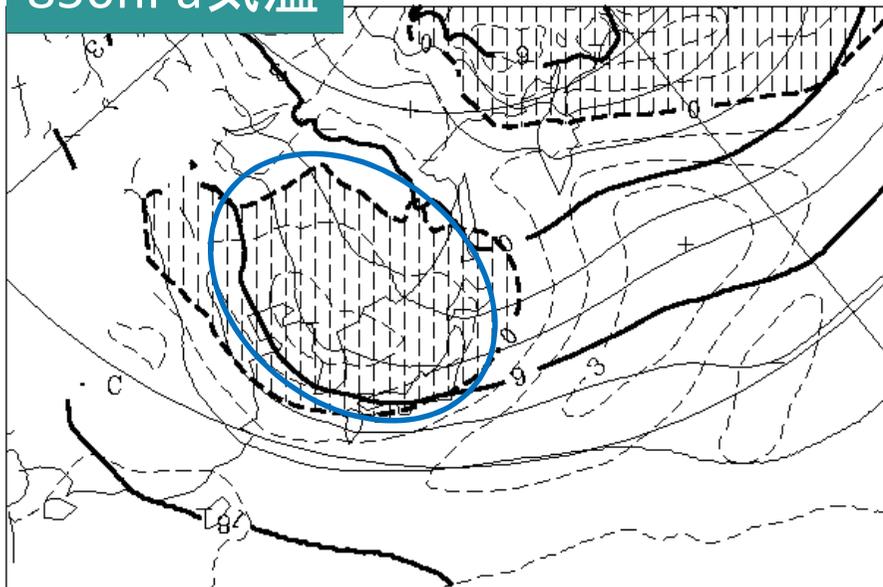
CONTOUR S.D.: 33m PROB.: 0.25



バイカル湖の東から日本にかけて負偏差。

バイカル湖の東から日本海付近にかけて、負の高偏差確率50%以上の領域に覆われる。

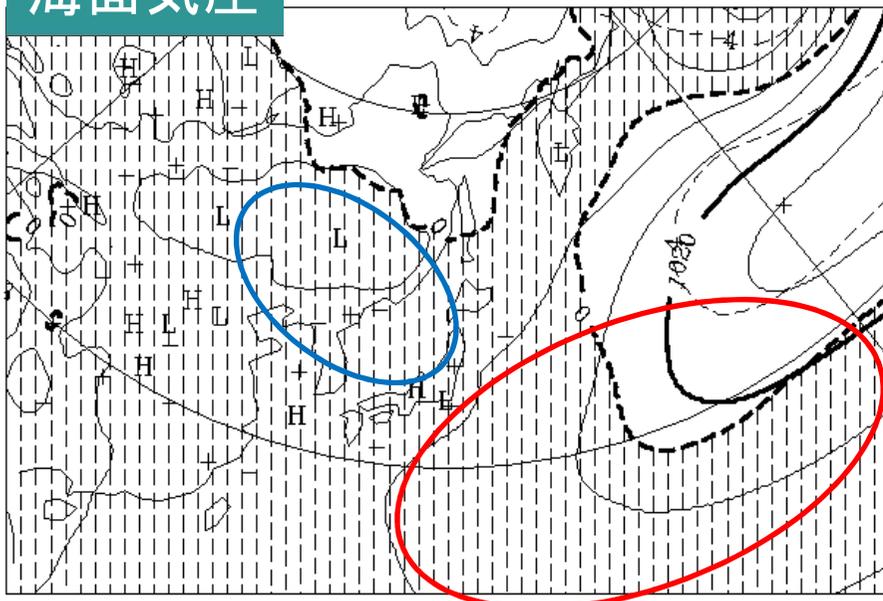
## 850hPa気温



日本付近は北・東・西日本を中心に負偏差だが、偏差は小さい。

中国東北区では低気圧を予測。北日本では低気圧や湿った空気の影響を受けやすい。沖縄・奄美では、日本の南東海上にある高気圧の縁辺を回る湿った空気の影響を受けやすい。

## 海面気圧



## 想定される天候

- 北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
- 東・西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

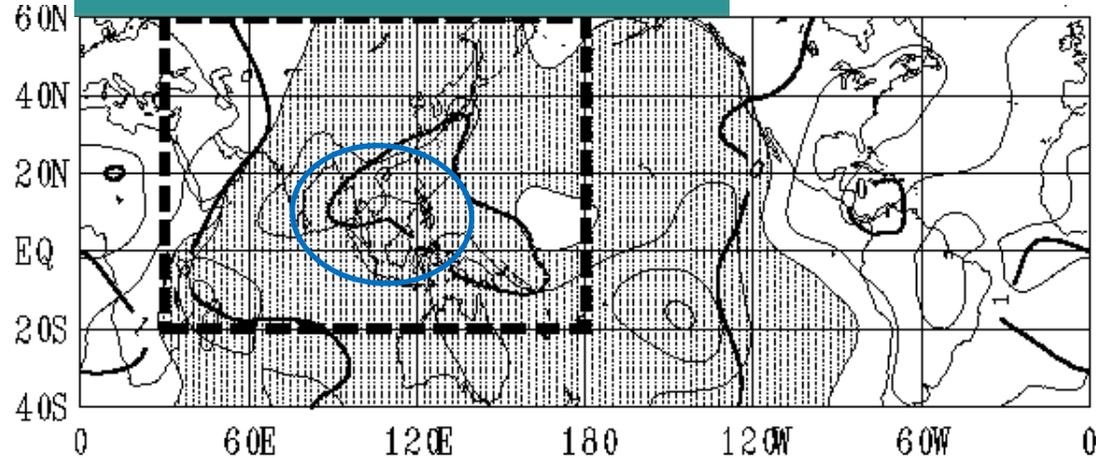
<気温>全国的に、平年並。

<天候>

北日本では、低気圧や湿った空気の影響を受けやすく、やや多雨・寡照傾向。

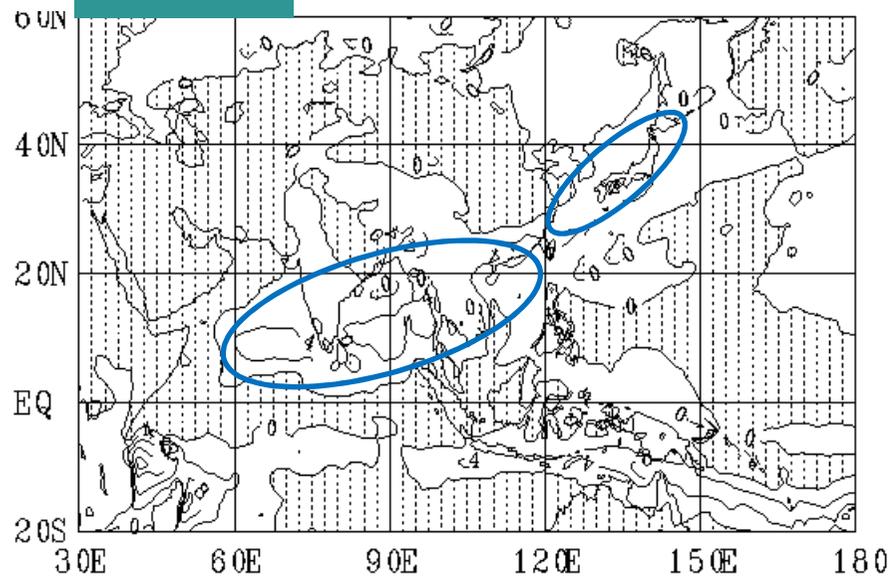
沖縄・奄美では、湿った空気の影響を受けやすく、やや多雨やや寡照。

## 200hPa速度ポテンシャル



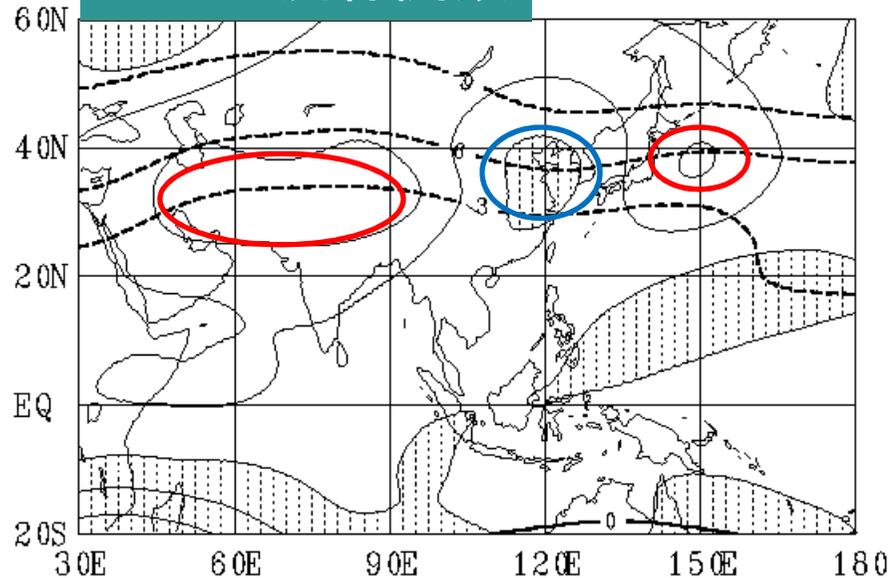
インドネシア付近を中心に上層発散偏差。

## 降水量



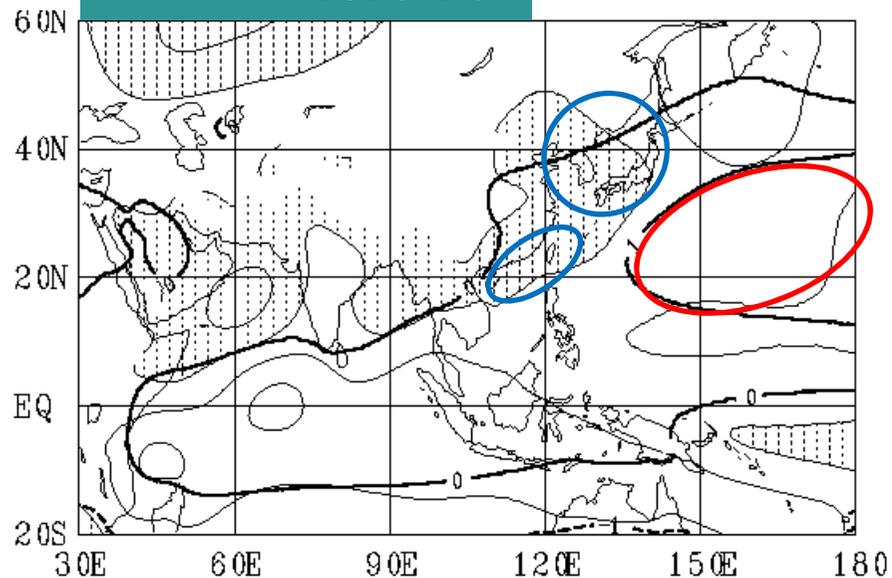
インド洋北部から南シナ海にかけて多雨偏差、日本付近でも多雨偏差。

## 200hPa流線関数



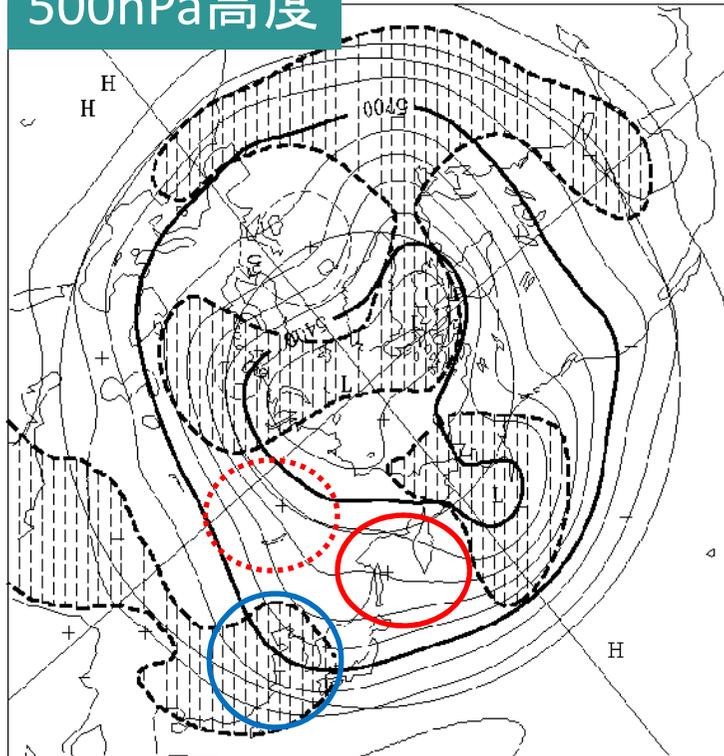
中央アジア付近で高気圧性循環偏差、中国東北区付近を中心に低気圧性循環偏差、日本の東では高気圧性循環偏差となり、熱帯の対流活動の影響を示唆。

## 850hPa流線関数



中国東北区から本州付近にかけてと南シナ海付近から沖縄・奄美付近にかけて、低気圧性循環偏差。一方、日本の南東海上に高気圧性循環偏差。

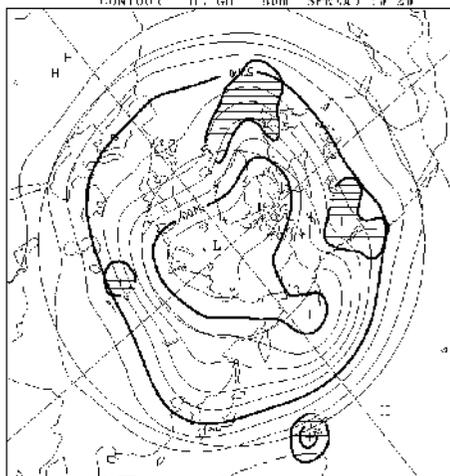
## 500hPa高度



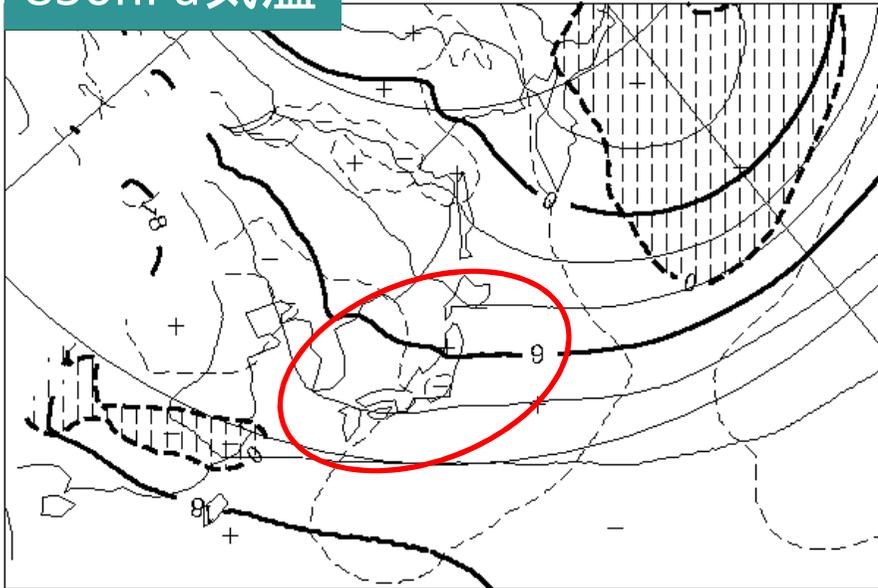
バイカル湖とオホーツク海付近で正偏差、華北から西日本付近にかけて負偏差。日本付近は西谷。

500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF H. AKOMA.Y AND S. D.

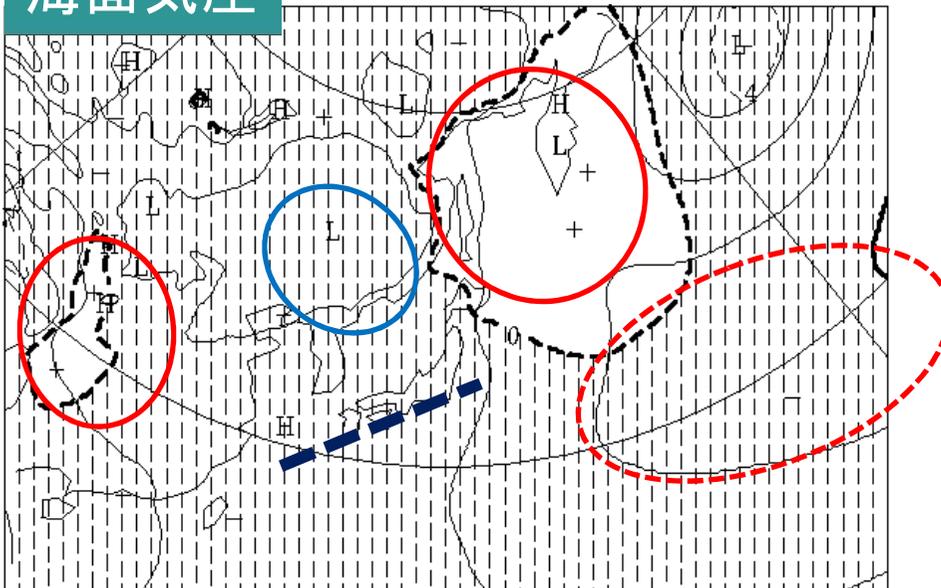


## 850hPa気温



日本を含む広い範囲で正偏差

## 海面気圧



中国東北区付近には低気圧があるほか、オホーツク海付近に高気圧がある。また、華中付近を中心に高気圧、日本の南東海上にも高気圧がある。日本付近は、華中付近の高気圧と日本の東海上の高気圧との間の気圧の谷となっており、前線や高気圧の縁辺を回る湿った空気の影響を受けやすい。

### 想定される天候

- ・ 北・東・西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線及び湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
- ・ 沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

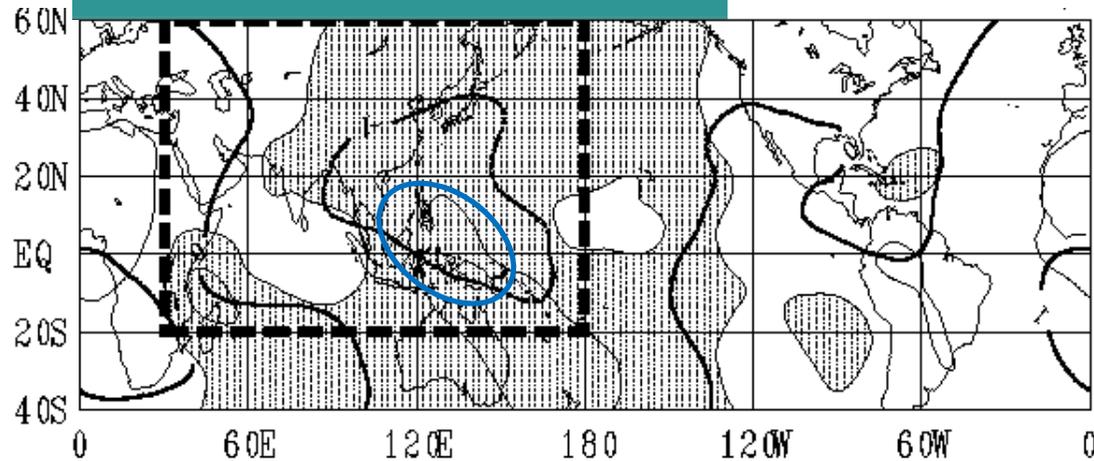
#### <気温>

全国的に、暖かい空気に覆われやすく、平年並か高い。

#### <天候>

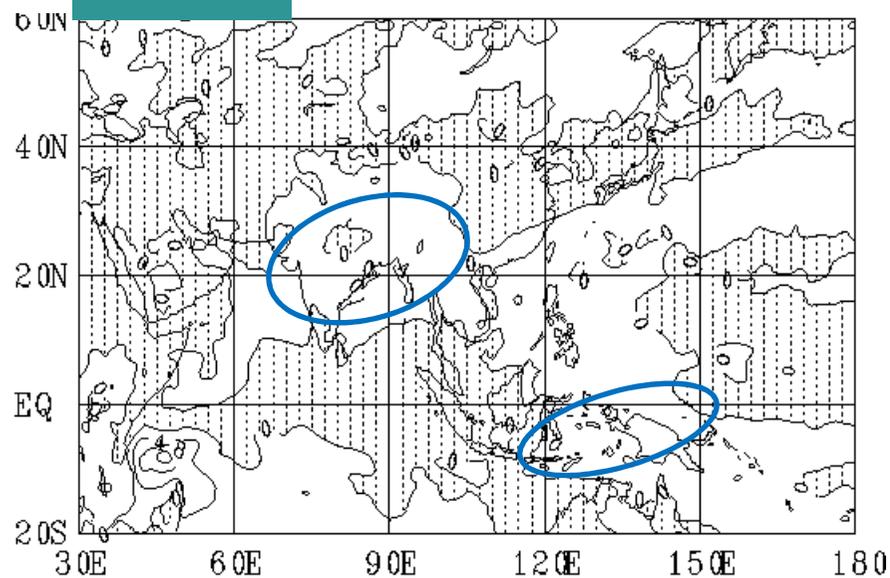
全国的に、低気圧や前線及び湿った空気の影響を受けやすい。

## 200hPa速度ポテンシャル



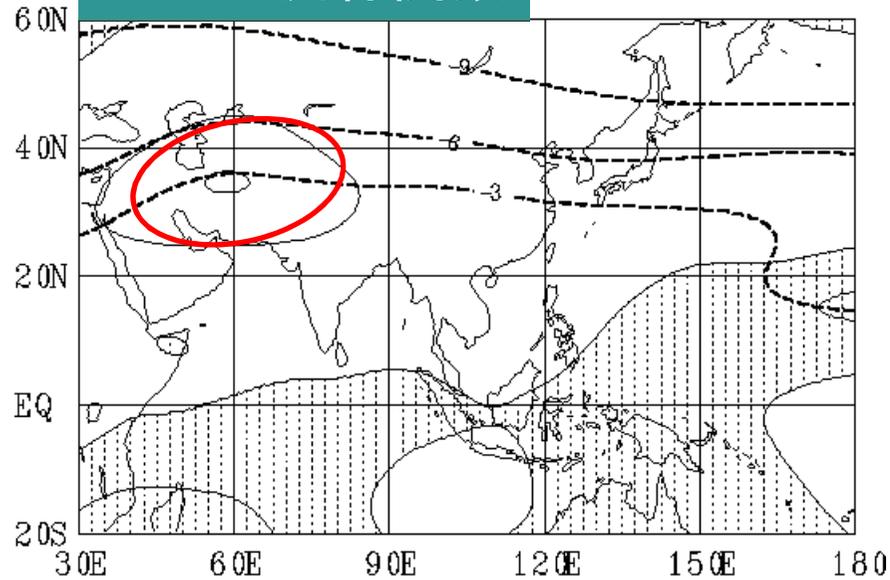
インドネシア付近で上層発散偏差。

## 降水量



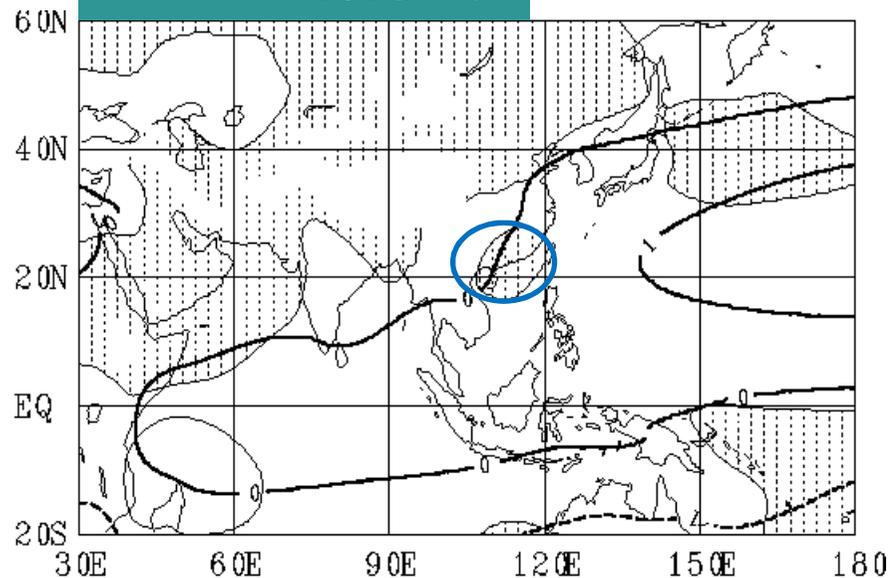
インド洋とインドネシア付近で多雨偏差。日本の南で多雨偏差だが、日本付近では、偏差は小さい。

## 200hPa流線関数



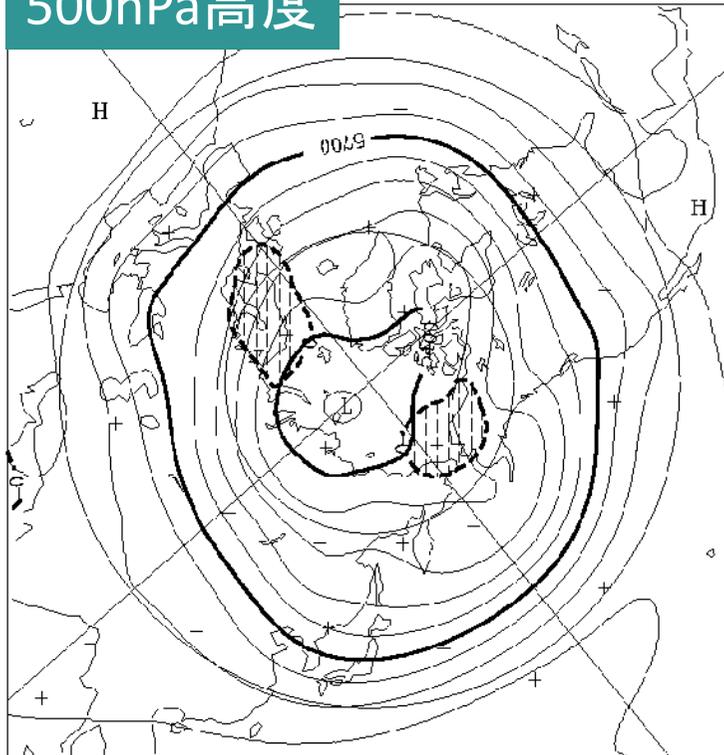
中東付近で高気圧性循環偏差。

## 850hPa流線関数



南シナ海付近で低気圧性循環偏差。

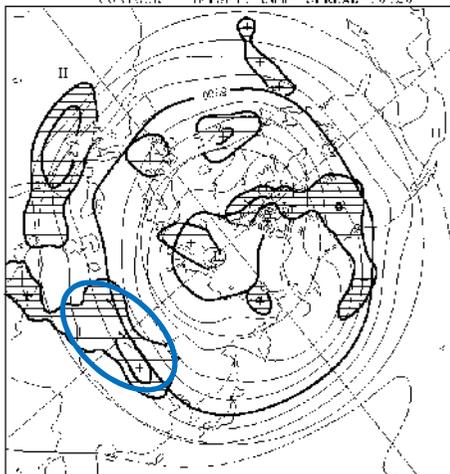
## 500hPa高度



日本付近は正偏差だが、平年からの隔たりは小さい。  
日本の周辺ではスプレッドが大きい所があり、予測に不確実性がある。

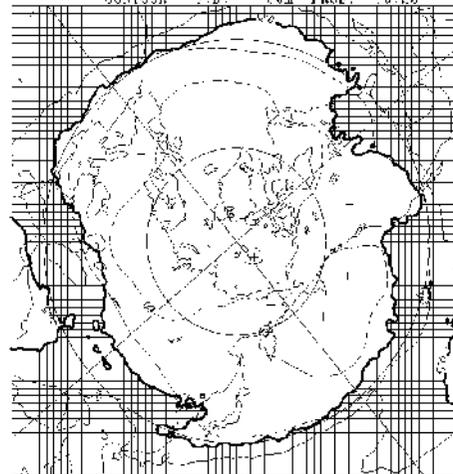
500hPa SPREAD AND HEIGHT

CONTOUR HEIGHT: 60m SPREAD: 0.20

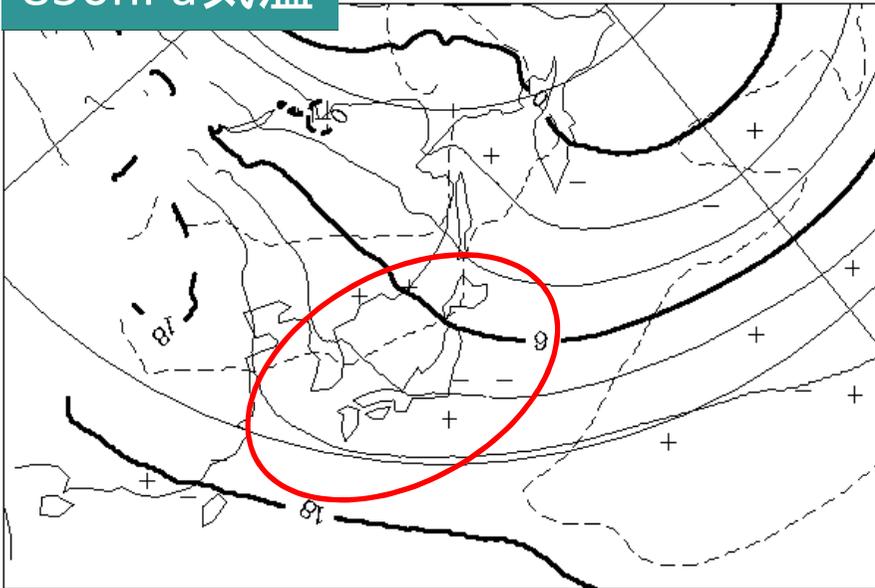


PROB. OF T. ANOMALY AND S.D.

CONTOUR S.D.: 20m PROB.: 0.25

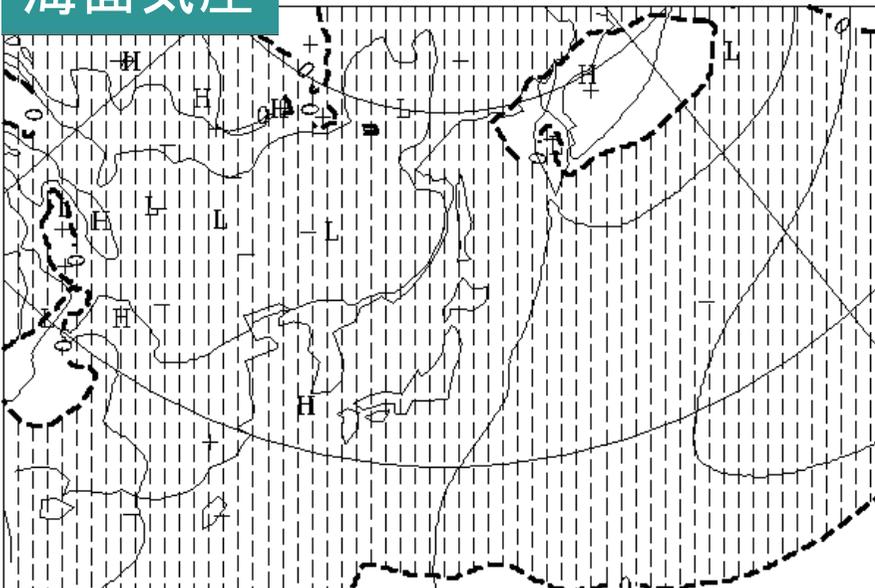


## 850hPa気温



日本付近は正偏差に覆われ、全国的に暖かい空気に覆われやすい。

## 海面気圧



日本付近は偏差が小さい。

## 想定される天候

北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。  
東・西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。  
沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

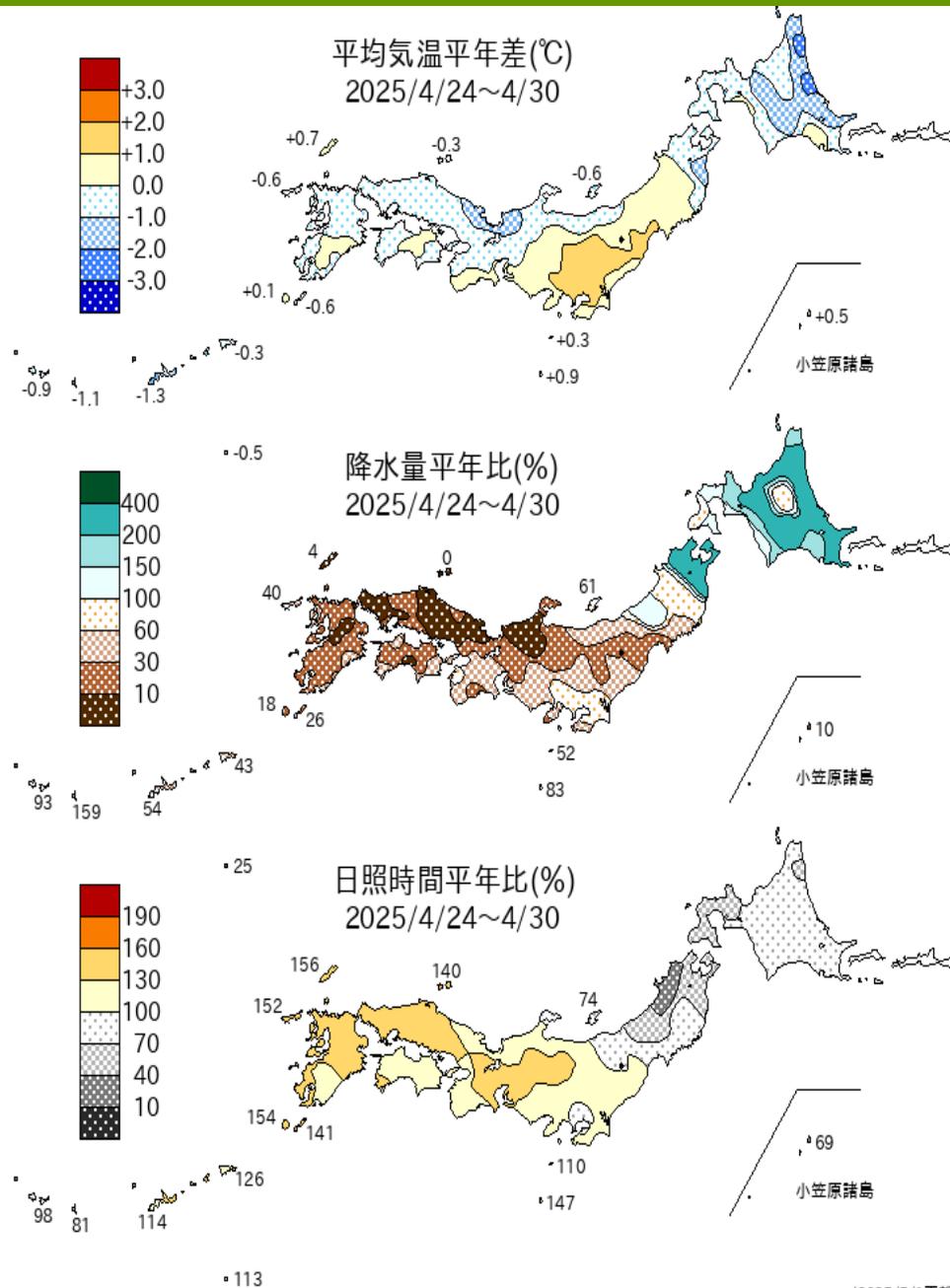
### <気温>

全国的に暖かい空気に覆われやすい時期がある。

### <天候>

全国的に平年程度の天候を見込む。

# 最近1週間の天候経過



最近1週間(4月24日~4月30日)は、北日本では、低気圧や湿った空気の影響を受けやすかったことから曇りや雨の日が多く、寒気が流れ込んだ時期もあり、雪が降った所もありました。このため、降水量は平年を大きく上回り、日照時間は平年を大きく下回りました。東・西日本では、天気は周期的に変化しましたが、高気圧に覆われやすかったため、西日本を中心に晴れの日が多くなりました。このため、降水量は平年を大きく下回り、日照時間は平年を上回りました。沖縄・奄美では、天気は周期的に変化しましたが、前線や湿った空気の影響で降水量が平年を上回り、日照時間が平年を下回った所もありました。気温は、寒気の影響を受けた北・西日本と沖縄・奄美では平年を下回りましたが、東日本では、寒気の影響を受けにくかった関東地方を中心に平年を上回りました。